



地方独立行政法人

神奈川県立病院機構

資料 2

2024.11.20評価委員会を踏まえた 第四期中期計画（案）の修正案

神奈川県立病院機構 本部事務局

2024.12.23

11月27日 県から委員の皆様への意見照会

12月10日～ 県議会 厚生常任委員会

この間に修正が発生
した箇所は、



を付して
説明します

12月23日 第7回評価委員会

① 患者満足度調査

指摘箇所：P.6 第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき
措置 3 患者や家族、地域から信頼される質の高い医療（1）患者・家族目線に立った医療の提供

渋谷
委員



意見

- 患者満足度100%は達成可能な目標なのか

阿南
理事長



伺い

- 現実に即した目標ではないが、100%以外に適正な水準も見いだせない
- 患者満足度の向上は必要だが、100%を掲げるか目標値を書かないか、どちらがよいか

池島
委員



意見

- 私の病院なら100%と置くか書かないかのどちらかで、途中の数字はありえない
- 100%を達成するという気概と受け取り、記載自体に違和感はなかった

渋谷
委員



意見

- その説明を聞くと納得するが、説明がなければやはり達成可能かどうかの疑問は浮かぶ

阿南
理事長



伺い

- 全体として100%を目指すという文言での表現として、目標値を削除するのはどうか

渋谷
委員



意見

- 気概を見せるという意味で、良いと思う

指摘箇所：P.6 第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置
 3 患者や家族、地域から信頼される質の高い医療（2）患者サービスの充実と積極的な情報発信

修正案（赤字）

委員会での議論を踏まえ、目標値を掲げず、業務の改善を目指す取組みとして表現しました。

（2）患者サービスの充実と積極的な情報発信

高い信頼性の下で県民に選ばれる病院となるよう、次の取組を通じてすべての県民に情報を適時適切かつ分かりやすく提供、発信する。

- ・ 公開講座やホームページ及び広報誌等を通じた、疾患や予防等の積極的な情報発信
- ・ 院内掲示やホームページによる、患者相談窓口等の分かりやすい情報提供
- ・ **患者満足度調査等に基づく高い**患者満足度の**維持とさらなる**向上と**を目指した恒常的な**業務の改善（後略）

病院名	令和5年度実績値		令和11年度目標値	
	入院患者満足度	外来患者満足度	入院患者満足度	外来患者満足度
足柄上病院	94.4%	削除	100.0%	100.0%
こども医療センター	97.1%		100.0%	100.0%
精神医療センター	69.2%	79.3%	100.0%	100.0%
がんセンター	91.2%	85.9%	100.0%	100.0%
循環器呼吸器病センター	98.9%	96.4%	100.0%	100.0%

② 病床数のリード文^更

指摘箇所：P.23 第12 各病院の病床数

阿南
理事長



伺い

- ・ 機構の病床数のリード文を、より踏み込んだ表現にしたい
- ・ 「地域の医療需要や経営状況に鑑みて、適切な病床数への変更を予定している。しかし、現状では予定変更数が未定のため、現病床数を記載した」と記載したい

河原
委員長



意見

- ・ 患者がいらない、医師がいらない、収益を上げられない、ともう少し厳しく書いた方が良い
- ・ 人口減少により県も長期的に財政縮小すると考えると、ダウンサイジングが必要
- ・ 厳しい現状を記載し、将来への備えとして強調すべき

修正案（赤字）

河原委員長のご指摘を踏まえ、地域の医療需要を勘案することを明記しました。
ただし、経営の状況に関わらず、必要があれば県の支援の下で政策的医療を担うため、厳しい経営状況への言及は避けました。

各病院の病床数は次のとおりとする。

ただし、~~地域の医療状況の変化に応じて、病床を適宜見直していく。~~今後、地域の医療需要を踏まえた適切な病床数への変更を予定しているが、現状では病床数が未定であることから、本計画策定時点の病床数を記載している。

指摘箇所：P.23 第12 各病院の病床数

鈴木
委員



意見

- ・ 病床種別の記載が混在しているので、分かりやすく記載すべき
- ・ 「高度急性期」や「回復期」はあくまで病床機能報告での区分であり、病床種別ではない

修正案（赤字）

鈴木委員のご指摘を踏まえ、医療法上の病床種別に従って記載します。
高度急性期等の機能は、一般病床の内数として表現します。

<修正前>

病床種別	令和7年度 現在	令和11年度 予定
高度急性期	46床	46床
急性期	184床	184床
回復期	60床	60床
感染症	6床	6床
合計	296床	296床

<修正後>

病床種別	病床の機能区分	令和7年度 現在	令和11年度 予定
一般病床	高度急性期機能	46床	46床
	急性期機能	184床	184床
	回復期機能	60床	60床
感染症病床	—	6床	6床
合計		296床	296床

指摘箇所：P.4 第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき
措置 1 高度医療の提供（5）地域の医療機関等との機能分化・連携強化

河原
委員長



意見

- ・ **前後の因果関係が反対**ではないか
- ・ 足上・精神で掲げている「**地域包括ケアシステム**」の記載があった方がよい
- ・ 「福祉施設等」では不明瞭なので、「**介護・福祉施設等**」としてもよい

修正案（赤字）

河原委員長のご指摘を踏まえ、因果関係ではなく並列の関係で前後を接続するよう変更しました
また、地域包括ケアシステムをリード文に記載し、「**介護・福祉施設等**」と分かりやすい表記としました

（5）地域の医療機関等との機能分化・連携強化

地域包括ケアシステム、地域医療構想や**及び**医療と福祉の連携の推進に向け、次の取組を通じて地域の医療機関等との機能分化・連携強化を進める。

（中略）

- ・ 入退院支援や退院後の自立した生活のための支援**のを**充実**する等、による**地域の医療機関や**介護・福祉施設等との連携強化**
- ・ 地域の医療機関や**介護・福祉施設等との情報共有**

指摘箇所：P.13 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置 1 適正な業務の確保 (1) 内部統制の強化

河原
委員長



意見

- ・「**医法連携体制**」が分かりづらい

修正案（赤字）

河原委員長のご指摘を踏まえ、平易な表現に修正しました。

1 適正な業務の確保

すべての職員に誠実かつ公正に職務を遂行させるため、次の取組を行う。

(1) 内部統制の強化

(中略)

- ・ **医法連携病院が弁護士に速やかに相談できる**体制の構築によるリスクマネジメント等の強化

⑥ 医師の働き方改革

指摘箇所：P.20 第10 その他業務運営に関する重要事項 1 人事に関する事項

長野
委員



意見

- ・ 持続可能な医療提供体制の維持は、タスクシフトやタスクシェアがどこまで進むかによる

河原
委員長



意見

- ・ 「医師の働き方改革の推進」は、リード文でも対応する記載があった方が良い
- ・ 医師の働き方改革だけでは、持続可能な医療提供体制の維持はできない

修正案（赤字）

長野委員のご指摘を踏まえ、タスクシェアやタスクシフトに係る項目を「医師の働き方改革」の次に配置しました。

河原委員長のご指摘を踏まえ、リード文で働き方改革に触れ、持続可能な医療提供体制の維持を織り込みました。

1 人事に関する事項

職員同士が共に学び、成長できるような職場環境を整備するとともに、働き方改革を進め、職員の能力の発揮等を通じて質の高い医療を効率的かつ持続的に提供するため、次の取組を行う。

（中略）

- ・ 「医師の働き方改革」の推進による、持続可能な医療提供体制の維持
- ・ タスクシェアやタスクシフト等による長時間労働の見直しと業務の効率化

項目順番入替

指摘箇所：P.16 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 3 収益の確保及び費用の節減

池島
委員



意見

病床稼働率56.8%という計画では、病院がつぶれてしまう

鈴木
委員



意見

足柄上病院の紹介件数の目標値が下がるのに紹介率の目標値が上がるのは、一般に分かりにくい

修正案（赤字）

池島委員のご指摘を受け、264床中180床の稼働を目指し、目標値を病床稼働率70.3%に上方修正しました。
その他、手術件数等の目標値も、令和5年度と同規模を目指すようそれぞれ上方修正しました。

鈴木委員のご指摘については、分母に当たる全受診者数も減少が見込まれるため紹介率が上がるものです。
この点については、個別の目標値の内容を説明すると全ての目標値に説明を記載する必要が生じることから、
原案のままとさせていただきます。

指摘箇所：P.16 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置 3 収益の確保及び費用の節減

鈴木
委員



意見

- ・ 循呼センターの病床稼働率の目標値は実績よりも上がっているが、**新規入院患者数の目標値はそこまで増えていない**
- ・ 平均在院日数が大幅に伸びることなのか

指摘箇所：P.13 第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置 4 各病院の主な機能と今後の取組（5）循環器呼吸器病センター

池島
委員



意見

- ・ 循呼センターの目標値には、**循環器領域のパラメータが入っていない**

修正案（赤字）

鈴木委員のご指摘を受け、改めて新規入院患者数を精査し、数値を修正しました。

病院名	新入院患者数		病床稼働率	
	令和5年度 実績値	令和11年度 目標値	令和5年度 実績値	令和11年度 目標値
循環器呼吸器病センター	3,940人	4,150人→4,390人	58.9%	84.6%

また、池島委員のご指摘を受け、循環器領域のパラメータとして「**カテーテルアブレーション実施件数**」を追加しました。